



Ordley
オードリー

組立前の確認事項チェックリスト

■組立をはじめる前に。。。

●組立をはじめる前に、組立説明書(本書)をよく読み、内容を理解してから、組立を開始してください。それがスムーズに作業を進めるコツでもあり、簡単にきれいに組み立てるポイントです。

●使用している木材はツーバイ材ですが、天然の木なので、割れやそり、ヤニ、ささくれなどが発生する場合があります。木の特性を十分理解した上で、組み立ててください。

また、木肌がきれいな面を外側にするときれいに仕上がります。

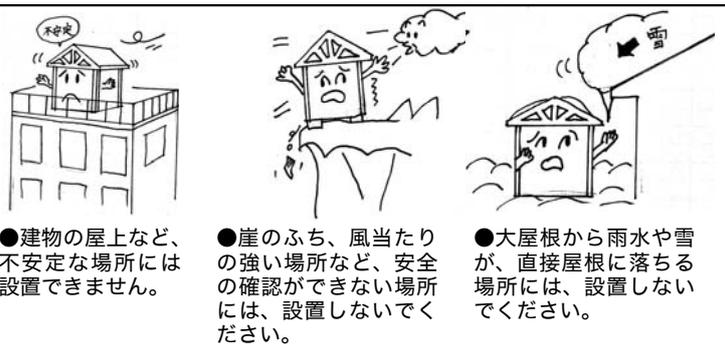
■パーツの形状、数量を確認してください。

●パーツリストを参考に、数量がすべてそろっているかどうか、確認してください。万が一、不足している場合は弊社営業担当者までお電話ください。すぐに発送いたします。

●釘や金物は十分な数量を用意していますが、万一、足りなくなった場合は、最寄りの金物店等でお買い求めください。

■設置場所の確認

●以下のところへの設置は避けましょう。



■組立に必要な道具



■道具を使うときは、周囲に注意し、安全を心がけましょう。

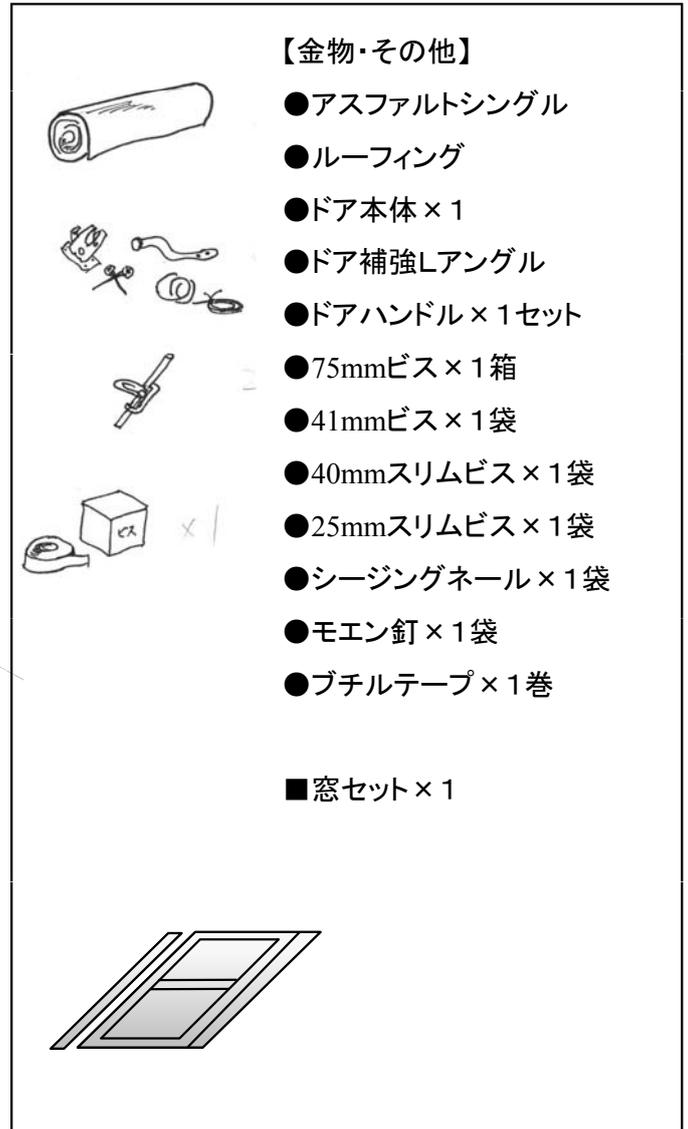
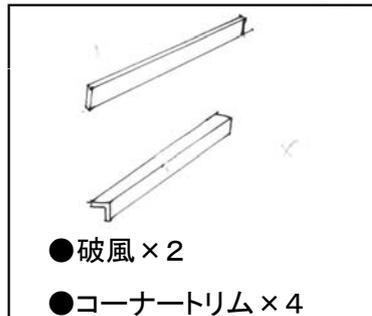
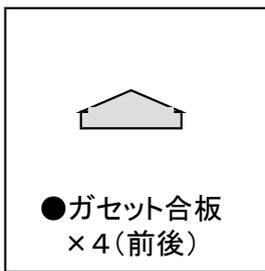
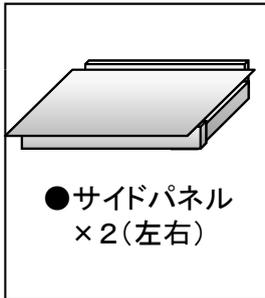
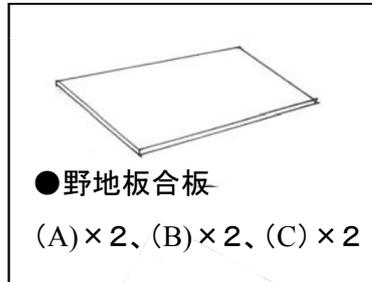
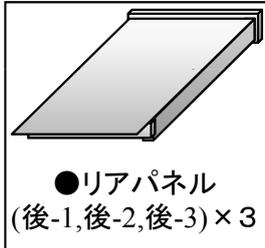
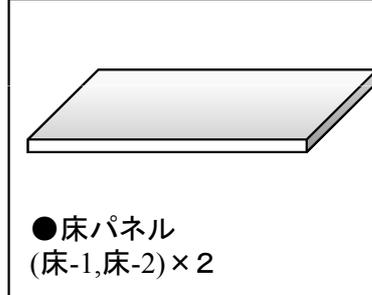
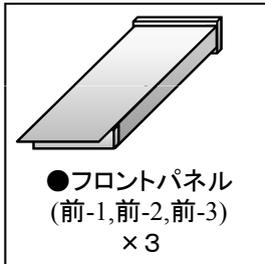
■さあ、あなただけのスモールハウスキットの組み立てをはじめましょう！



パ ー ツ リ ス ト

■パーツの種類、数量をご確認ください

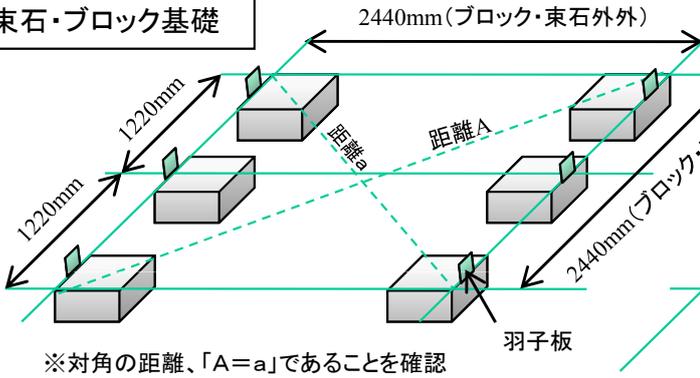
●梱包をあけ、下記のパーツや数量がそろっているかご確認ください。



※パーツの数量が足りない場合や、内容がわからない場合は、弊社営業担当者までお電話ください。

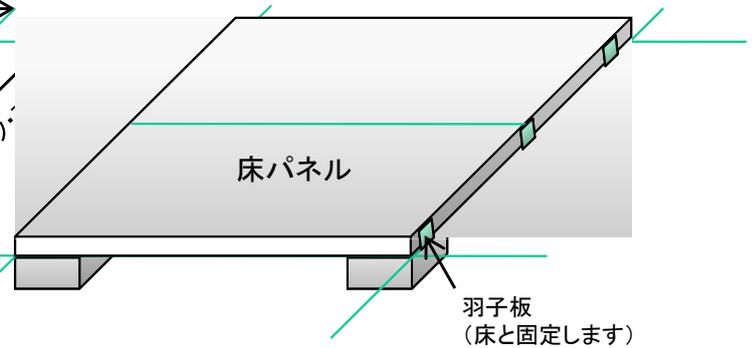
■基礎の準備

■東石・ブロック基礎

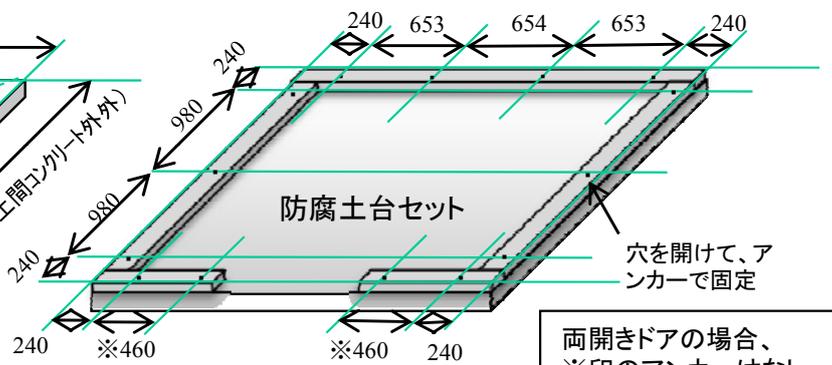
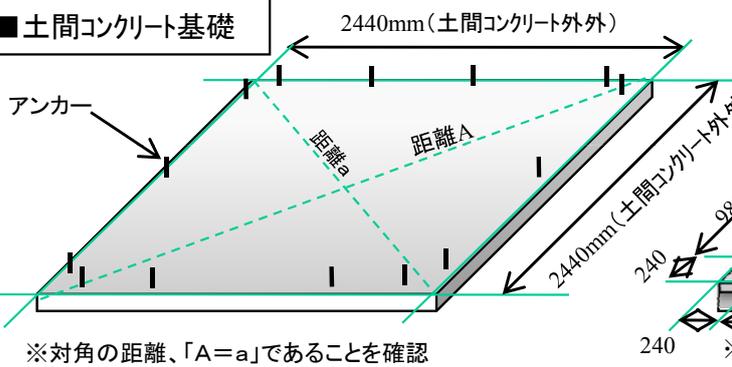


【ポイント】

- ・ブロック・東石の上面は、水平であることを確認してください。
- ・基礎が直角かどうか対角をはかり、ねじれがないかを確認してください。

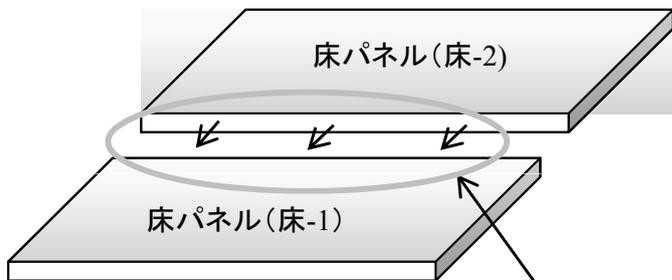


■土間コンクリート基礎



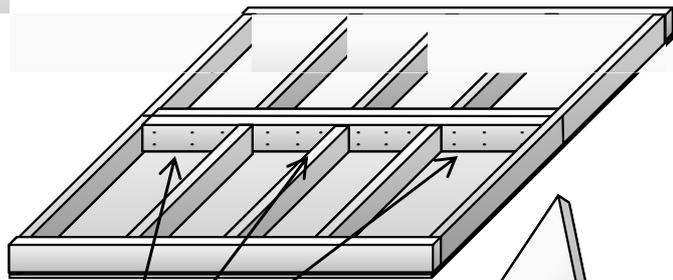
両開きドアの場合、
※印のアンカーはなし

①床パネルの組立

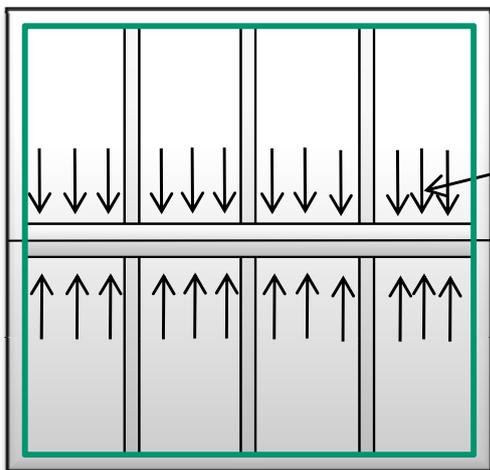


【ポイント】

- ・床面がずれないように床パネルをそろえてください。
- ・75mmビスは必ず両面からしっかりと打ち込んでください。
- ・パネルをひっくり返すときは、まわりに十分注意して、2名以上で行ってください。



75mmコースビスを
(6本×2列)両側から打込む
全部で48本

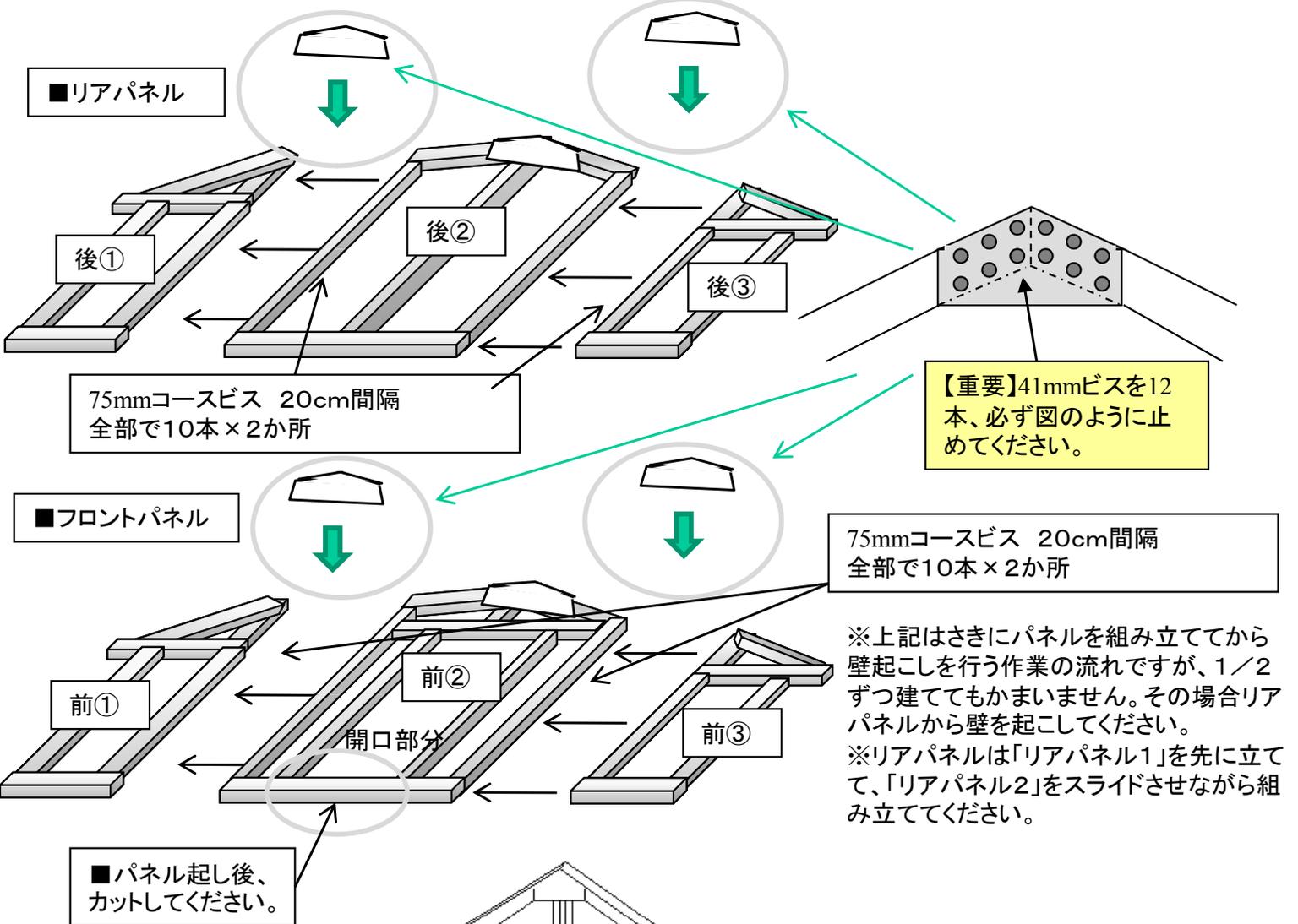


パネルをひっくり返すときは、
必ず2名で作業を行ってください。

②壁パネルの組立

【ポイント】

・2分割で梱包されているリアパネルと、フロントパネルを組み立てます。

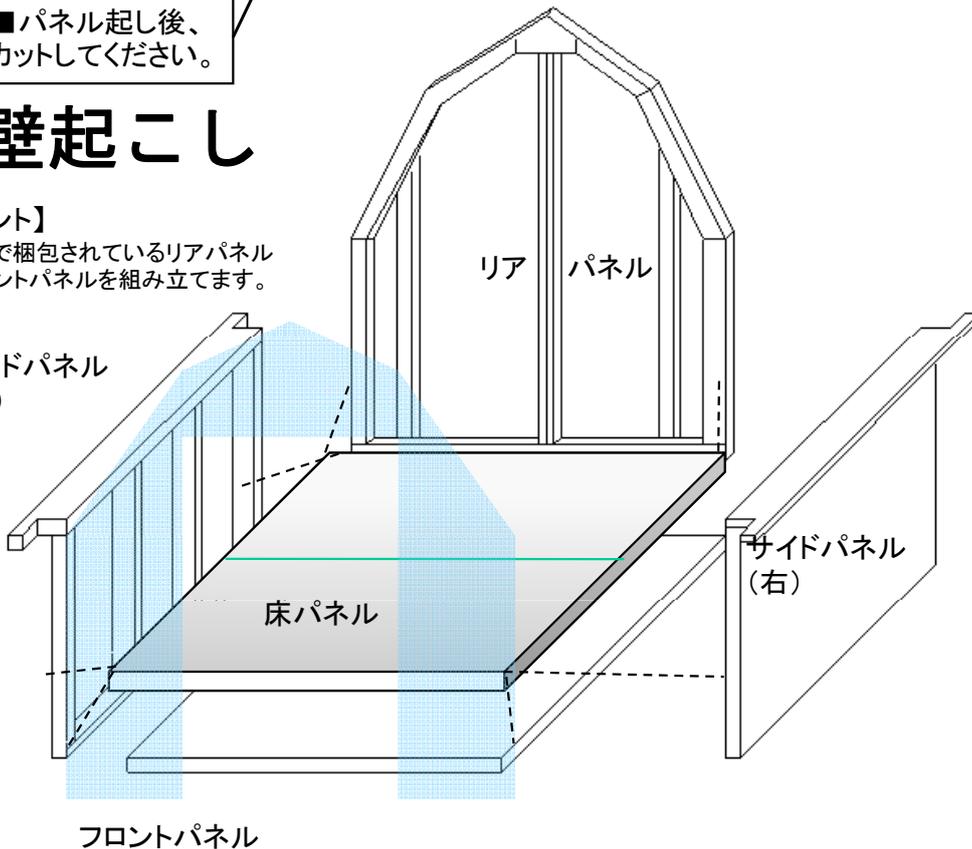


③壁起こし

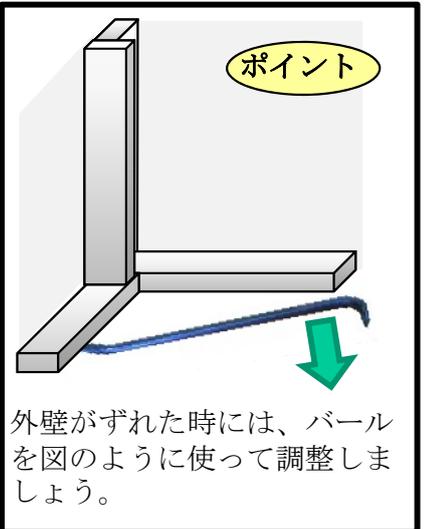
【ポイント】

・2分割で梱包されているリアパネルと、フロントパネルを組み立てます。

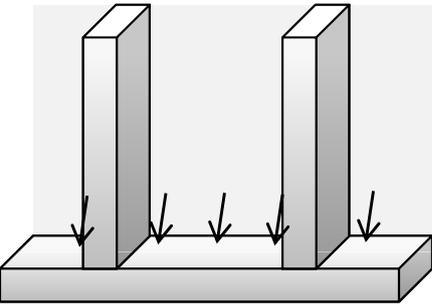
サイドパネル
(左)



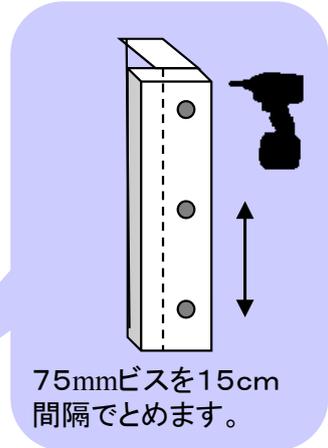
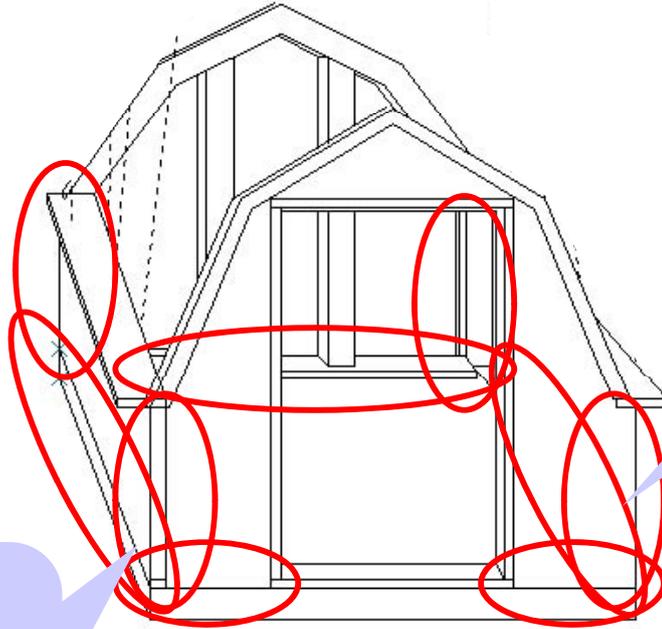
ポイント



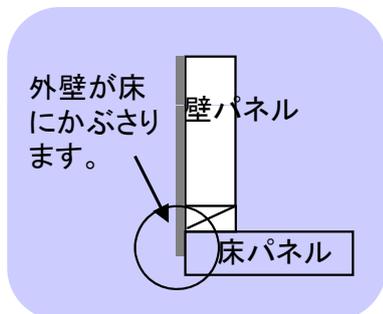
外壁がずれた時には、ボールを図のように使って調整しましょう。



75mmビスを柱と柱の間で、3本ずつとめます。



75mmビスを15cm間隔でとめます。

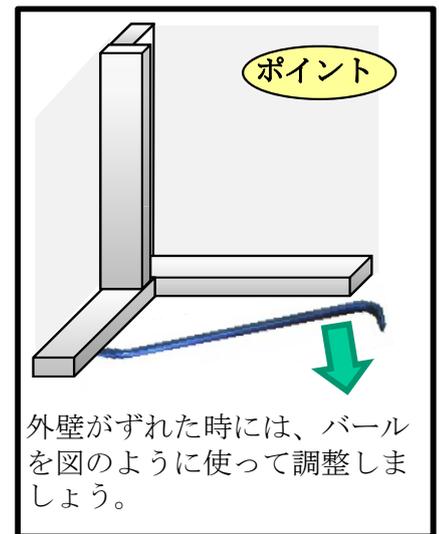


外壁が床にかぶさります。

壁パネル
床パネル

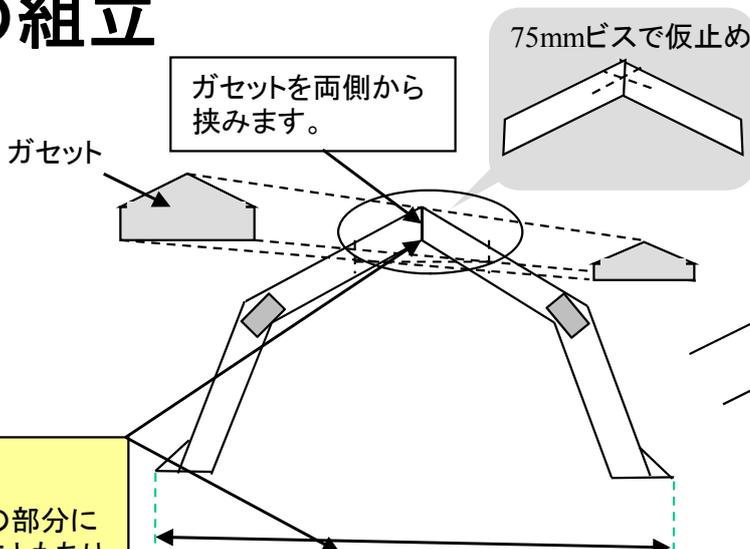


内側から、床・壁・天井のスタッドに15センチ間隔で75ミリビスを打ちます。



外壁がずれた時には、バールを図のように使って調整しましょう。

④垂木の組立



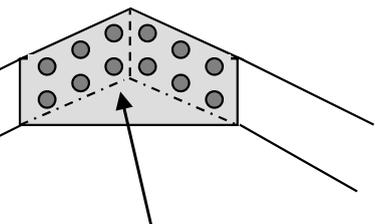
ガセットを両側から挟みます。

75mmビスで仮止め

巾=2630mm

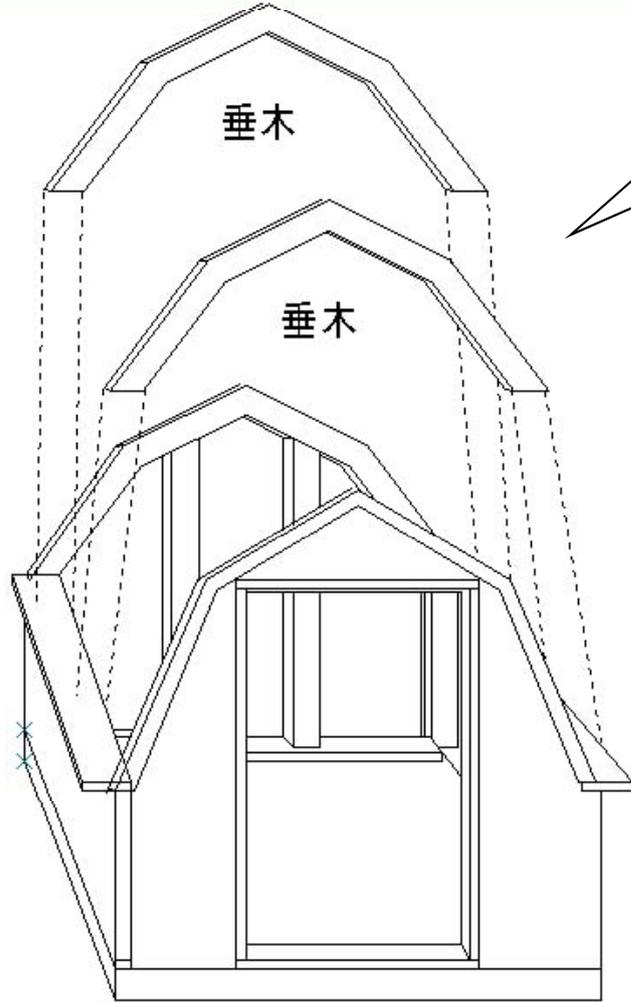
※注意
垂木と垂木の次の部分には隙間が出ることもありますが、この巾を優先させて、ガセットを取り付けてください。

この巾に合わせてガセットを取り付けてください。



【重要】41mmビスを12本、必ず図のように止めてください。ガセットを両側から挟み、同じく裏側も12本ビスを止めてください。

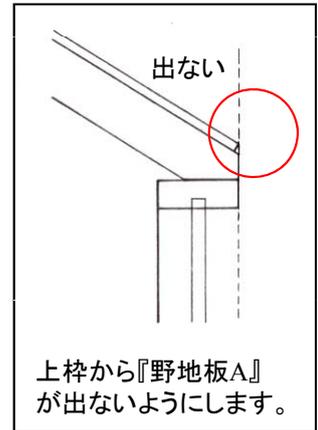
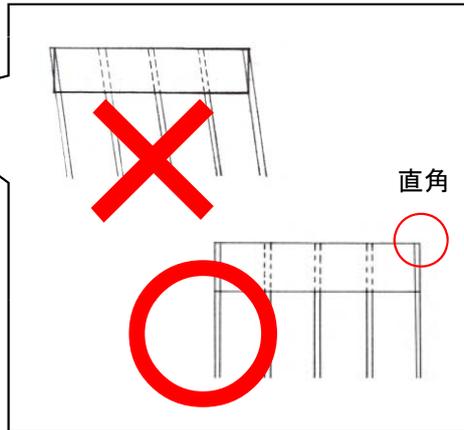
⑤屋根の組立



下枠から1本、

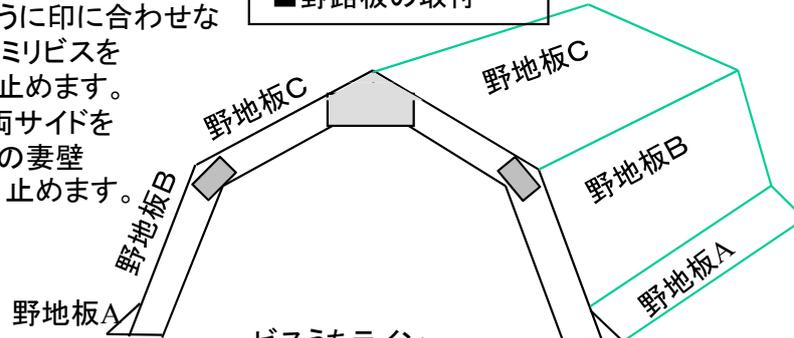


垂木の上から2本



垂木の角が上枠の端から出ないように印に合わせながら、75ミリビスを3本ずつ止めます。2組とも両サイドを止め、前の妻壁パネルも止めます。

■野路板の取付



ビスうちライン
垂木に打ちます。

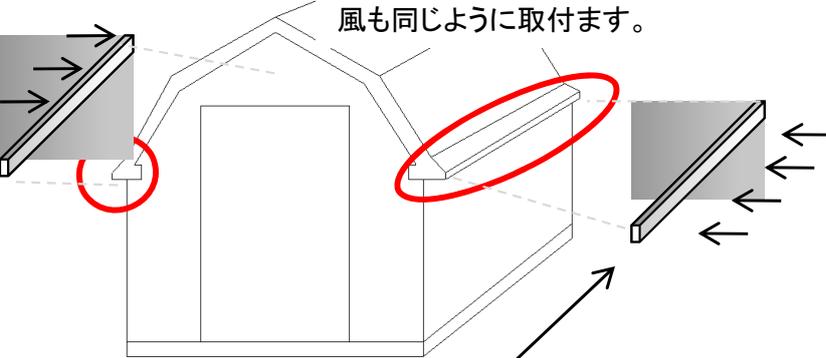


上から垂木に沿って、15センチ間隔で41ミリのビスを打ちます。

※野路板は下から貼ってください。

■破風の取付

破風をスリムビス40mmで1列ずつ、15センチ間隔に止めます。反対側の破風も同じように取付ます。



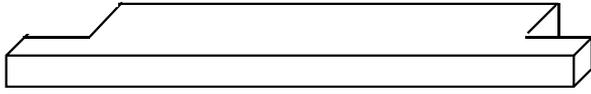
軒に『破風』を当て、長さを測り、印を付けます。



印をつけたところを直角にカットします。

⑤屋根下地

■ステップ1
上枠を取り付けます。

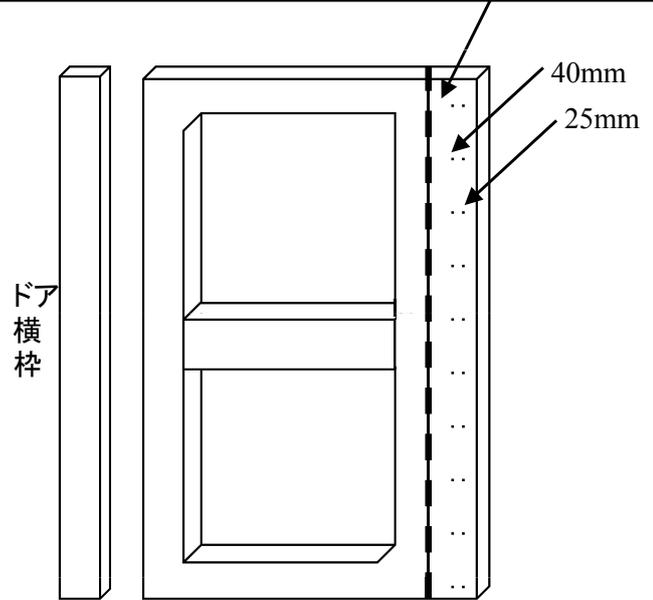


2x4上枠



■ステップ2

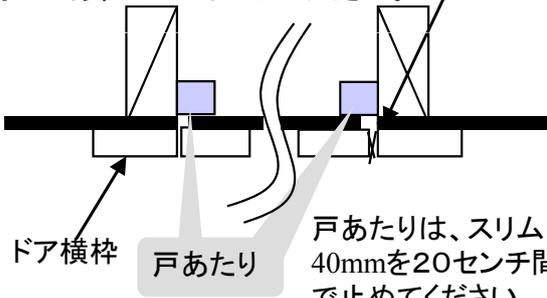
ドアを取り付けます。ピアノ丁番がついているほうが吊元になります。スリムビス40mmと25mmの2種類を使います。40mmはピアノ丁番側に、25mmは枠外側に使用してください。



■ステップ3

戸あたりは、2x4枠の内側に3方（左・右・上）に取り付けます。長さを開口にあわせてカットしてください。

ピアノ丁番

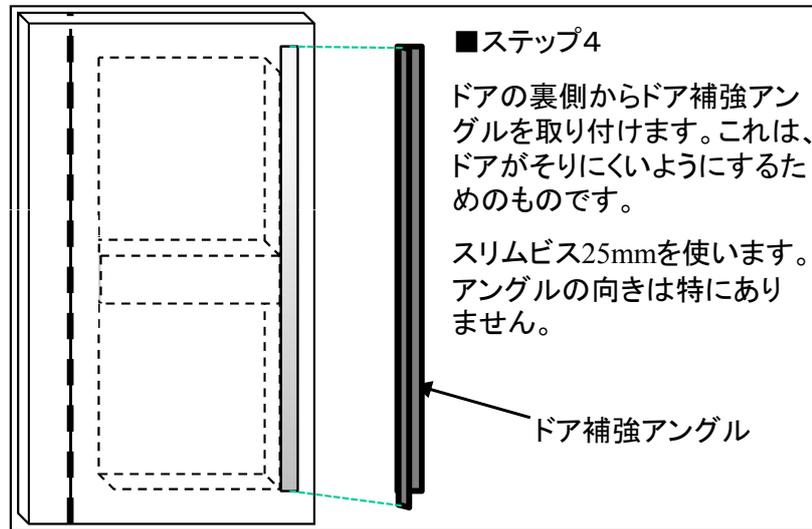


戸あたりは、スリムビス40mmを20センチ間隔で止めてください。

■ステップ4

ドアの裏側からドア補強アングルを取り付けます。これは、ドアがそりにくいようにするためのものです。

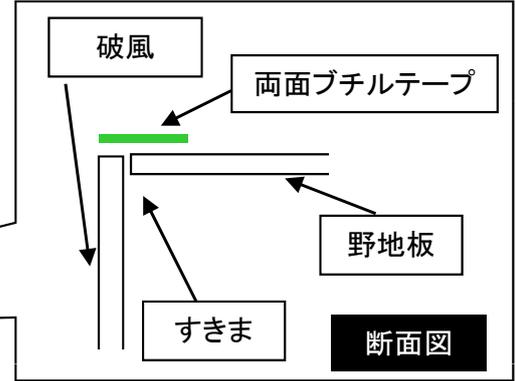
スリムビス25mmを使います。アングルの向きは特にありません。



⑤屋根下地

■両面プチルテープ

※反対側も同じく貼ってください。

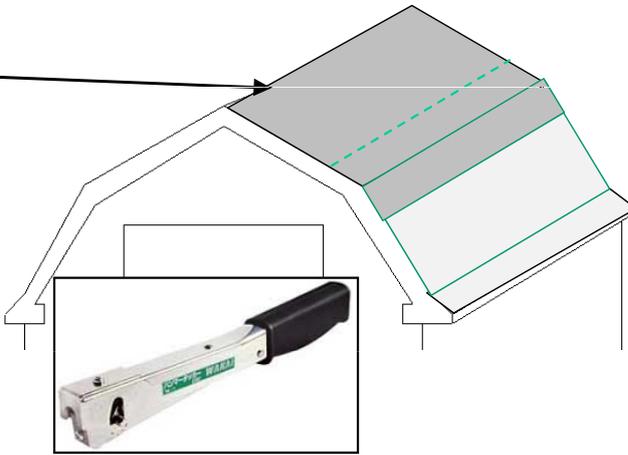


野地板の破風・トリムの上に『両面プチルテープ』を貼ります。軒先は、特に丁寧に貼りましょう。

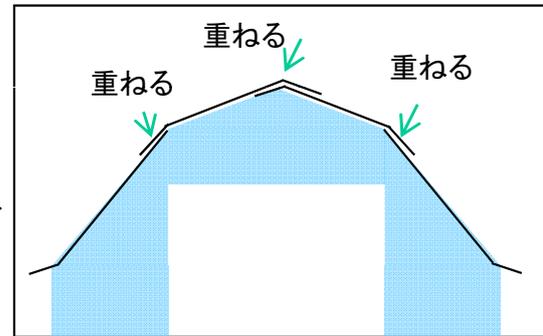
■ルーフィング

【アスファルトルーフィング】

野路OSB合板の上から、アスファルトルーフィングを貼ります。防水のために貼りますが、右図のように、下から重ねて貼ります。

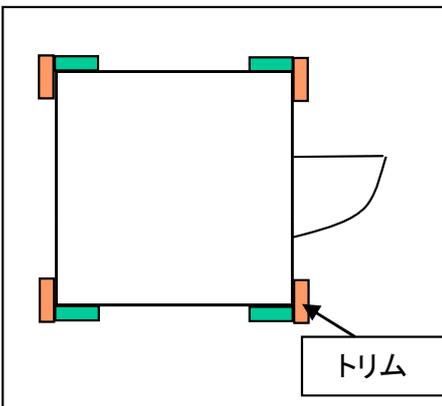


ハンマータッカー



アスファルトルーフィングを上図のように重ねるように、野路OSB合板に貼ります。タッカーステープルまたは、ハンマータッカーを使って、アスファルトルーフィングを固定していきます。

■トリム

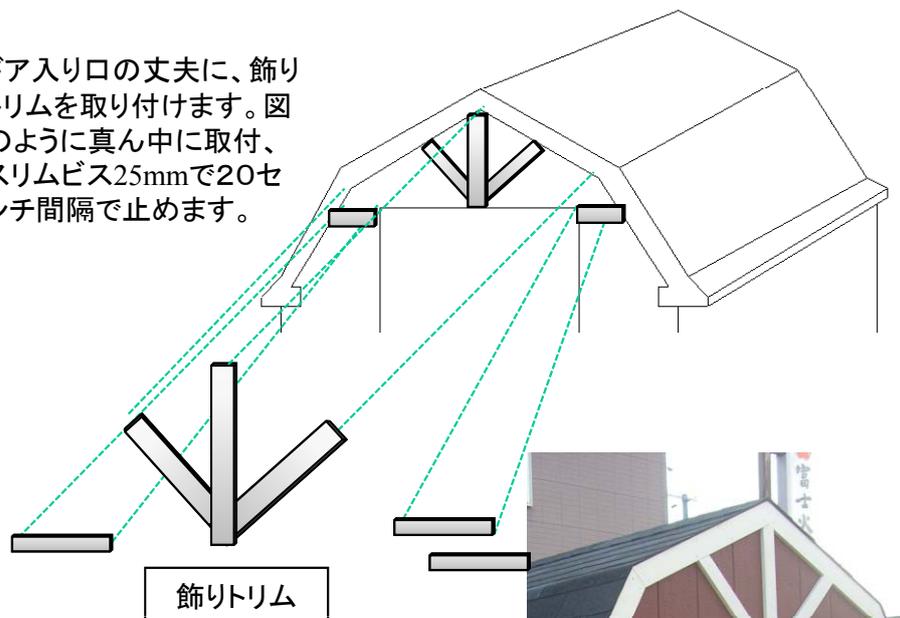


トリム



図のようにトリムを取り付けます。スリムビス25mmで20センチ間隔に止めます。

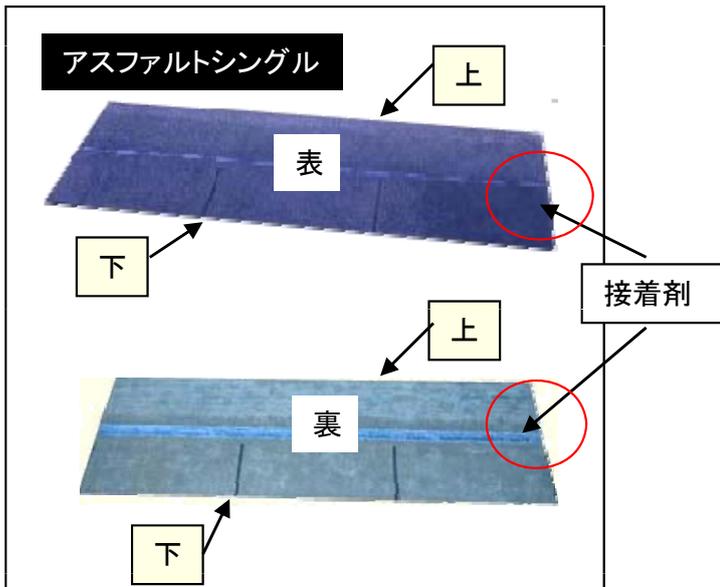
ドア入り口の丈夫に、飾りトリムを取り付けます。図のように真ん中に取り付け、スリムビス25mmで20センチ間隔で止めます。



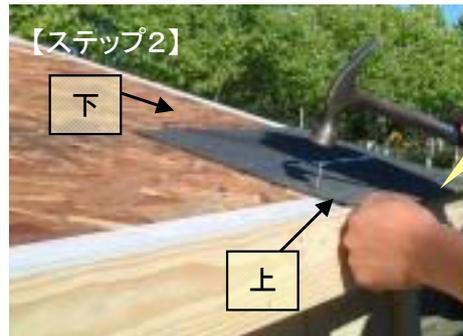
⑥屋根材の取付

【ポイント】

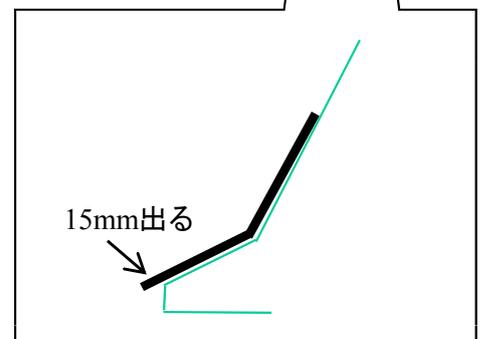
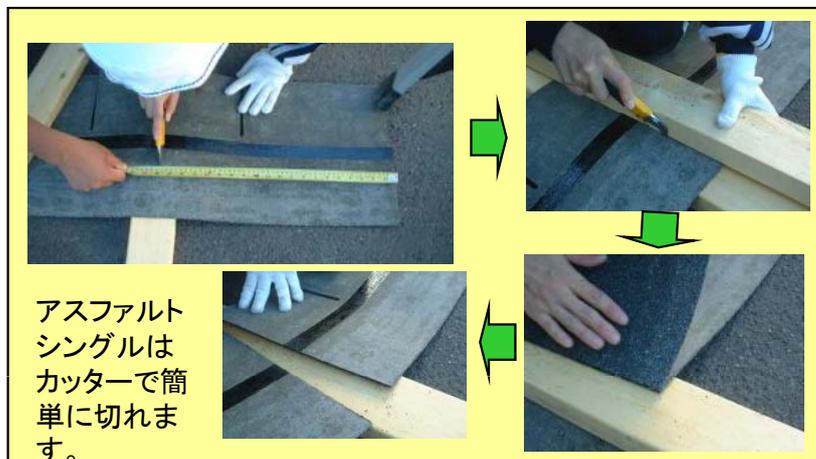
- 屋根にアスファルトシングルを貼ります。
- 高いところでの作業になりますので、脚立を使い、安全に気をつけて、作業しましょう。



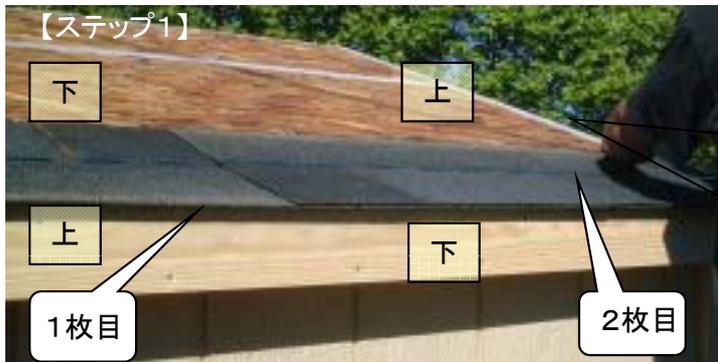
アスファルトシングルの裏のフィルムをはがします。



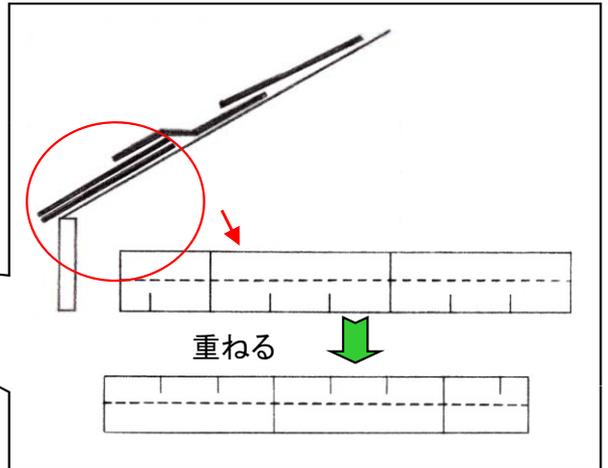
アスファルトシングルを貼り始めます。最初の一行は、上下を逆にします。2枚半で1列となりますので、左右に均等に合わせます。軒の下は15ミリくらい出るようにします。シー징ネールを15センチ間隔に打ちます。



⑥屋根材の取付



下の1列目がスタートなので、同じ列に普通の向きのアスファルトシングルをもう一枚重ねます。



2段目からは1段目に半分重ね、半分ずらして、貼っていきます。シージングネールを接着剤の上に、15センチ間隔で打ちます。



屋根の棟は、アスファルトシングルを3等分にカットし、上から重ねて貼っていきます。



物置の内側はアスファルトシングルを打った釘が出ますので、金槌で釘の先を曲げておくと安全です。



下から見た様子です。



上から見た様子です。